令和５年度事業報告書

「花と緑の元気とやま創造プラン」（令和２年３月）に基づき、「花と緑と人が輝く元気とやまの創造」を推進するため「花と緑をはぐくむ」「花と緑にふれあう」「花と緑をすすめる」の３つの柱のもとに、各種事業を実施した。

また、県の指定管理施設である富山県中央植物園及び県民公園頼成の森の適切な運営管理に努めた。

Ⅰ　銀行事業（公益目的事業１）

62,458,700 円

１　花と緑をはぐくむ事業　45,217,000 円

（１）花と緑の地域づくり事業　24,466,000 円

ア　花の種苗配布事業

緑化グループや身近な施設等へ夏花壇用草花苗や秋植え球根を配布し、地域の特色を生かした花づくりを推進した。

・夏花壇用プラグ苗	マリーゴールドなど	27 種	288,271 株
・夏花壇用ポット苗	サルビアなど	44 種	240,819 株
・秋　植　球　根	チューリップなど	3 種	180,813 球

イ　緑化木配布事業

住民の憩いの場になっている花壇等を緑あふれる空間とするため苗木を配布し、地域の住民が主体となった緑づくりを推進した。

・支店緑化運動苗木配布	9 支店	46 種	1,053 本
・寄贈を受けた苗木配布	8 支店	（サクラ）5 種	172 本

（２）地域の花づくり推進事業　3,910,000 円

ア　花壇造成事業

枕木や石などを使った自然風花壇の新規造成及び改良を促進した。

氷見市西朴木公園花壇など　10 ヵ所(7 支店)

イ　土壌改良事業

再生資源の利用を図りながら、花壇やプランターの土づくりを推進した。

富山市大沢野地区など　469 ヵ所(9 支店)

（３）学校緑化促進事業　447,000 円

学校や保育園等での緑化活動を通じ、緑化意識の高揚を図るとともに、良好な学習環境づくりを推進した。

・記念樹植栽事業　1 校
・チューリップの学級づくり　780 学級

（４）支店活動事業　14,247,000 円

支店や地方銀行からの要望等を踏まえ、支店が主体となった緑化事業や地方銀行の緑化活動を支援した。　15 支店

・花壇やフラワーポット等の維持管理
・地方銀行の活動交付金
・緑化木や種苗の配布
・緑化関係会議、技術研修の開催
・花壇コンクールの開催　など

（５）おもてなしフラワー事業　147,000 円

観光地等を花で飾り、訪れた方により良い印象を持っていただくとともに、各地域での主体的な活動を支援するため設置したフラワーポットの維持管理を行った。

・維持管理（３年目）
　南砺支店：菅沼合掌集落、魚津支店：魚津駅前周辺　２カ所（２支店）

（６）花で飾るフォトスポット in 富山湾岸サイクリングコース事業　2,000,000 円

令和３年５月に「ナショナルサイクルルート」に指定された「富山湾岸サイクリングコース」のサイクルステーション周辺に、県を代表するチューリップを中心としたフラワーポットを設置し、花と緑に彩られた快適な環境づくりを促進するとともに、花壇のリフレッシュや、指導者の花壇維持管理技術のスキルアップを図った。

・フォトスポット設置事業
　富山市　岩瀬カナル会館、射水市　海王丸パーク、高岡市　道の駅雨晴
　３カ所（３支店）
・花壇リフレッシュ事業
　黒部市　名水公園・清水花壇・清水花壇、射水市　海老江コミュニティセンター
　４カ所（２支店）
・指導者スキルアップ事業
　富山市　岩瀬カナルパーク、高岡市　道の駅雨晴
　２カ所

以上（１）～（６）の事業は、支店への交付金事業として実施。
また、（６）の「指導者スキルアップ事業」は、本店の直接事業として実施。

２　花と緑にふれあう事業　　10,704,700 円

ア　花と緑の各種コンクールの実施

花と緑を活かした美しい地域づくりを推進するために、花と緑の各種コンクールを実施した。

(ｱ) 富山県花のまちづくりコンクール

現地審査日：令和５年７月 19 日（水）～８月４日（金）

・学校花壇の部

最優秀賞　黒部市　石田小学校など　　応募　21 校

・幼稚園･保育所花壇の部

最優秀賞　富山市　新庄保育所など　　応募　16 施設

・プレミアム花壇の部

最優秀賞　射水市　小杉花作り同好会など　　応募　6 団体

・一般花壇の部

最優秀賞　砺波市　東野尻花と緑の推進協議会など　応募　130 団体

・花の道の部

最優秀賞　小矢部市　野ぎくの会など　　応募　25 団体

(ｲ) 花と緑のポスター原画、標語コンクール

・ポスター原画の部　審査日：令和５年９月 12 日（火）

瀬戸楓和(氷見市　南部中学校)など　応募　2,605 点

・標語の部　審査日：令和５年８月 31 日（木）

近藤珠貴(小矢部市　大谷中学校)など　応募　936 点

＜花と緑のコンクール参加状況＞

コンクール部門	R1	R2	R3	R4	R5	開始年度
学校花壇	29	20	25	24	21	S49～
幼稚園・保育所花壇	22	16	17	18	16	H5～
プレミアム花壇	9	8	8	8	6	R 元～ (H30 まではモデル花壇)
一般花壇	168	125	129	123	130	S59～
花の道	36	25	29	26	25	H11～
花と緑のポスター原画	2,882	1,087	3,605	3,607	2,605	S48～
花と緑の標語	975	575	618	1,184	936	S50～

イ　置県 140 年記念・財団設立５０周年記念 花と緑の大会の開催

財団設立５０周年の記念大会として 50 年の歴史を振り返るとともに、花と緑の推進に功績のあった方々の功労者表彰及び銀行事業の推進に貢献のあった方々への感謝状の贈呈、花と緑のコンクール入賞者の表彰、花と緑の宣言、花と緑の講演会及びスワッグ講習会を開催した。

（開催日等）

令和５年 10 月 24 日（火）

富山県民会館　　参加者数：527 名

（同時開催）銀行活動の特別展示　～５０年の歩み～
花と緑のコンクール入賞作品及び花壇写真展示

(ｱ) 花と緑の功労者表彰　　県知事表彰　　個人　　３名　　団体　　２団体
理事長表彰　　個人　２６名　　団体　　６団体

(ｲ) 感謝状の贈呈　公益財団法人花と緑の銀行設立５０周年記念感謝状
個人　５名　　団体　１団体

(ｳ) 花と緑のコンクール入賞者表彰

学校花壇の部	１１校	(最優秀 1, 優秀 4, 優良 3, 奨励 2, 努力 1)
幼稚園・保育所花壇の部	６施設	(最優秀 1, 優秀 2, 優良 3)
プレミアム花壇の部	６団体	(最優秀賞 1, 優勝賞 5)
一般花壇の部	１７団体	(最優秀 1, 優秀 6, 優良 4, 奨励 6)
花の道の部	１０団体	(最優秀 1, 優秀 4, 優良 4, 努力 1)
ポスター原画の部	５０名	(最優秀 1, 優秀 3, 優良 6, 佳作 40)
標語の部	２２名	(最優秀 1, 優秀 3, 優良 6, 佳作 12)

(ｴ) 花と緑の宣言 2023

50 周年の記念大会において、これまで引き継がれてきた全国でも先進的な「花と緑のまちづくり」運動を継承・発展させることなどを宣言

(ｵ) 花と緑の講演会

「花の流通・消費とフラワーデザインの魅力」
講　師　フラワーデザインアトリエ Quelle（クヴェレ）主宰
公益社団法人 日本フラワーデザイナー協会本部講師
高木　優子 氏

(ｶ) スワッグ講習会

開催日時：令和５年 10 月 25 日（水）　9:30～11:30
開催場所：富山県民会館 302 号室
講　　師：高木　優子 氏
受 講 者：４２名

(ｷ) 花と緑の銀行設立50周年記念誌「50年のあゆみ」の発刊

発行部数：600部

主な内容：花と緑の銀行の歩み（50年の動きと支店の活動など）、コンクールに見る花のまちづくりの歴史など

ウ　「令和５年度花とみどり・ふれあいフェア」の開催（34回目）

県民生活に花と緑を活用した彩り豊かで潤いと安らぎのある生活スタイルを提案するとともに、緑化意識の高揚を図るイベントを開催した。

（開催日等）

令和６年２月17日（土）～２月18日（日）

富山市 ファボーレ　　参加者数：約30,400人

（主な内容）

(ｱ) コンテストの実施

・「コンテナガーデンコンテスト」は、地域緑化の指導者として活動している頭取・グリーンキーパーの日頃の活動の成果を発表する機会として実施した。

花と緑の銀行各支店・地方銀行の応募作品・・・・・・・・10点

（入賞作品内訳：大賞 1点、優秀賞1点、佳作3点）

・「私の寄せ植え」は、広く一般から募集し、年末、正月から春先まで庭先・玄関を花と緑で飾る寄せ植えをコンテストとして実施した。

一般県民からの応募作品・・・ 20点

（入賞作品内訳：最優秀賞1点、優秀賞2点、新人賞1点、佳作4点）

(ｲ) 花と緑等に関する展示

・ とやまの花品評会　57点

・ チューリップ 21品種、スイセン（11系統)120点、ラン 10点

・ ホール花飾り など

(ｳ) 花と緑の活用に関する体験教室の実施

・ 体験教室 「寄せ植え」、「アロマワックスバー（親子体験）」

・ 花と緑に親しむコーナー

「観葉植物の寄せ植え」、「ボタニカルフラワーギャザリング」
「ミニスワッグ」、「押し花で作る小物」、「アロマテラピー」
「木工クラフト」、「木のおもちゃで遊ぼう」

(ｴ) 花と緑の銀行の事業関連

・ 表彰式・・・・・ コンテナガーデンコンテスト、私の寄せ植え

・ 花の種無料貸し出し（236人、計1,995袋）

・ パネル展示・・・ 令和５年度花と緑のコンクール入賞作品展

（ポスター原画 50点、標語 22点、花壇写真 53点）

エ　花のまちづくり新拠点創出支援事業の実施

地域緑化活動の広がりを支援するため、新たな緑化活動のきっかけとなる花壇教室や緑化相談を行い、地方銀行を核とした花のまちづくりが創出されるよう支援した。

令和5年度花のまちづくり新拠点創出支援事業の実施状況

No	支店名	地方銀行名	日　時	場　所	参加数（人）	内　容
1	富山	倉垣	4月24日（月） 8:00～11:00	富山市布目旭公園 （富山市布目3434-3）	10	布目旭長寿会のメンバーが既存の花壇に花苗を植栽した。
2	射水	金山	①4月22日（土） ②5月10日（水） 9:30～10:30 ③5月25日（木） 10:00～11:00	射水市立金山保育園 （射水市青井谷8）	25	地元講師とGKの指導により ①土作りと花壇作り ②種だんご作りと植え付け ③花苗の植え付け を行った。
3	氷見	十二町1区	6月4日（日） 10:00～11:00	氷見市島沖崎公民館 （氷見市十二町1027-6）	35	講師の指導により児童と保護者がバスケットに寄せ植えを行った。
4	黒部	村椿	6月3日（土） 10:00～10:40	黒部市村椿公民館 （黒部市吉田4260-2）	110	講師の指導により児童と保護者が生地駅前湧水公園用にプランターに寄せ植えを行った。
5	砺波	油田	5月28日（土） 8:00～11:00	砺波市石丸公民館 （砺波市石丸127）	70	講師の指導により児童と保護者が既存の花壇とプランターに花苗を植栽した。
6	高岡	二塚	6月9日（金） 10:30～12:00	高岡市立二塚小学校 （高岡市二塚1260）	42	地元講師の指導により児童が既存の花壇に種だんご式花苗を植栽した。
7	黒部	三日市	11月23日（木） 10:00～11:30	くろべ市民交流センター 「あおーよ」 （黒部市三日市725）	31	地元頭取とGKの指導により桜井小学校児童らがプランターに花苗を寄せ植えした。
8	富山	熊野	①11月15日（水） 11月16日（木） ②11月23日（木） 11月24日（金） 12月 3日（日）	富山市上熊野公園 （富山市上熊野2340-28）	13	地元GKの指導により ①花壇の造成 ②花苗の植え付け を行った。
9	黒部	愛本	12月16日（土） 13:30～15:00	黒部市愛本公民館 （黒部市 宇奈月町愛本新2076）	14	地元GKの指導により児童らが花壇体験としてプランターに花苗を寄せ植えした。
10	氷見	薮田	3月25日（月） 10:00～12:00	氷見市阿尾公民館 （氷見市阿尾1015）	50	能登半島地震「心の復興支援」を兼ねて、講師や地元GKの指導により海峰校区児童育成クラブの児童らがプランターに花苗を寄せ植えした。

オ　とやまの地域花壇の紹介

地域の花壇づくりを応援し、幅広く紹介するため、花壇マップを希望者に配布したほか、ホームページで優れた花壇を紹介した。

カ　「富山のさくら」名所づくり事業

本県のさくらの名所を県民のみならず県外から訪れる観光客などに広く紹介し、地域振興や観光資源としての活用を推進するため実施した（県委託事業）。

(ｱ) さくら守による解説

令和５年４月１日から４月 16 日にかけて、富山さくらの名所 10 箇所（富山県中央植物園、月訪の桜、百年桜、常願寺川公園、高岡古城公園、松倉城址、向野のエドヒガン、城端別院善徳寺、ふくみつ河川公園、森林研究所樹木園）においてさくら守の会員延べ 70 名によりサクラの解説を行った。

(ｲ) さくら守ステップアップ講座

富山さくらの名所を維持管理するためには、さくら守のより一層の資質向上が必要であることから、維持管理や普及・解説等に役立つ見識を深める講演会を実施した。

演　題：私たちの特別な木、サクラの秘密
講　師：今西 純一 氏（大阪公立大学教授）
開催日：令和６年３月 17 日（日）
受講者：さくら守会員 48 名

(ｳ) 富山さくらの名所 70 選開花情報の発信

花と緑の銀行のホームページにおいて富山さくらの名所 70 選の開花情報を発信した。

ホームページアクセス数：70,578 件（期間：R5.3.20～R5.5.26）

キ　普及広報活動

(ｱ) 広報誌「花と緑の銀行だより」の発行　　年間４回　　１回　3,400 部
（10 月号は 3,000 部）

(ｲ) 普及啓発用カレンダーの配布(地方銀行、小中学校等へ配布)　　900 枚

(ｳ) 花と緑に関する情報提供

ホームページにより、さくら開花情報、花だより、花と緑のイベント、草花や緑化木の管理方法等の紹介及び各施設の情報を提供した。

(公財)花と緑の銀行(https://www.bgtym.org/fgbank/)

(ｴ) マスコットキャラクター「はなぴー」による花と緑の普及活動

・花と緑のフェスティバル（5/13（土）～14（日）：富山市）
・とやま森の祭典 2023（5/27（土）～28（日）：砺波市）
・トヨタモビリティ富山（株）植樹会（6/3（土）：高岡市）
など

３　花と緑をすすめる事業　　6,537,000 円

ア　新任頭取･グリーンキーパー研修

新任の頭取・グリーンキーパーを対象に、花と緑に関する知識・技術の向上のため研修を実施した。

令和５年５月２３日（火）　富山県民共生センター サンフォルテ

受講者　76 名

・講座１　「花と緑の元気とやま推進プラン」の概要　森林政策課

・講座２　「花と緑の銀行の活動について」　普及研修部

・講座３　「花のまちづくり活動事例」　水戸田地方銀行頭取　萩原 信夫 氏

・講座４　「花壇づくりのポイント」　花総合センター 舘 睦美 氏

イ　頭取･グリーンキーパーブロック研修

頭取・グリーンキーパーを対象に、県内３会場で花と緑に関する新たな知識を得るための研修を実施し、地域のリーダーとしての自覚と意識高揚を図った。

・県西部　令和５年６月１９日（月）　クロスランドおやべ

受講者　２３４名

演題：富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン　～温暖化と生物多様性～

講師：職藝学院 教授　渡邉　美保子　氏

・県東部　令和５年６月２０日（火）　新川学びの森交流館

受講者　８４名

演題：花のまちづくりを通して目指して欲しいもの　～全国の活動事例紹介～

講師：（公財）日本花の会 上級研究員　小山　徹　氏

・県中部　令和５年６月２８日（水）　富山県民共生センター サンフォルテ

受講者　１０１名

演題：なぜ花や緑は社会に必要なのか　～心と体にやさしい花と緑の力～

講師：千葉大学大学院園芸学研究院 准教授　岩崎　寛　氏

ウ　頭取・グリーンキーパーステップアップ研修

頭取・グリーンキーパーを対象に、花と緑についての専門知識を深める実践的な研修を実施し、地域のリーダーとして総合的な地域緑化を担う人材の育成に努めた。

４月～１１月　全２０回　修了者 ３０名（全員）

○ステップアップ研修実施内容

回	月　日	区分	研修内容
1	4月12日	半日	開講式 花のまちづくり１（講義）
２、３、４	4月26日	全日	花壇づくりの基礎知識１、２、３（講義） 花壇デザインのポイント
5	5月10日	午前	花壇実習１（土壌診断、土づくり）
6	5月24日	午前	花壇実習２（施肥・定植）
７、８	6月7日	全日	植物管理の基礎知識（講義） 花壇実習３（マルチング、補植）
9	6月21日	午前	花壇実習４（メンテナンス作業）
10	7月5日	午前	花壇実習５（メンテナンス作業）
11	7月19日	午前	花壇実習６（メンテナンス作業）
12	8月2日	午前	花壇実習７（メンテナンス作業）
13	8月18日	午前	花壇実習８（メンテナンス作業）
14	8月30日	半日	花壇実習９（メンテナンス作業）
15、16	9月7日	全日	花のまちづくり２（現地視察 新潟県見附市）
17	９月13日	午前	花壇実習 10（メンテナンス作業）
18	10月4日	午前	花壇実習 11（メンテナンス作業）
19	11月8日	午前	花壇実習 12（撤去作業、宿根草の株分け）
20	11月15日	午前	花のまちづくり３（講義） 閉講式

エ　フラワーグリーンバス教室

県外の優れた緑化活動の実践現場を視察し、緑化推進手法及び技術の向上を図った。

日　時：令和５年５月３０日（火）

場　所：小松市芦城センター（石川県小松市）こまつの花のまちづくり
小松運動公園のバラ園（小松市）
那谷寺（小松市）

参加者：８８名

オ　支店活動推進会議及び現地課題研修の支援

各支店主催の頭取・グリーンキーパーの活動推進会議に出席し、花のまちづくりコンクールでの優良花壇の紹介や支店活動事業の説明を行った。　　10 支店

＜参考＞　頭取・グリーンキーパー数（令和６年４月１日現在）
頭取: 309 名、グリーンキーパー：1,896 名　合計 2,205 名（暫定値）

Ⅱ　富山県中央植物園の管理運営業務（公益目的事業２）

345,249,693 円

中央植物園は、植物公園ネットワークの中核施設として設置された施設であり、植物の収集・展示、調査研究、教育普及の３つの事業を行う日本海側初の総合植物園として平成５年に開園した。令和５年度は、第５期指定管理の２年目を迎え、猛暑や地震（令和６年元日）の影響などを受けながらも、特別展や新規企画展の実施、SNS も含めた県民への情報発信、栽培技術の工夫による植物生育状況の改善に取り組んだ。入園者数は 11 万人超とコロナ禍前の水準を上回った。

令和５年度の新たな取り組み

（１）　開園 30 周年記念式典、特別展示

平成５年 10 月の開園から 30 周年を迎え、10 月６日にサンライトホールにおいて記念式典を開催した。記念式典では、知事の挨拶、園長による 30 周年のあゆみの紹介、来賓の祝辞やオックスフォード大学植物園・樹木園長からのビデオメッセージを披露した。30 周年記念に向けて準備してきたイギリスからのサクラを記念植樹した。第二部では、功労者へ感謝状の贈呈、（公社）日本植物園協会会長の西川綾子氏による記念講演を開催した。

また、記念式典に先立ち、９月８日～10 月１日までの間、特別展示「富山県中央植物園の 30 年」を開催し、30 年間の足跡や成果を紹介した。開園記念日の 10 月 1 日には、記念の栞を入園者に配布したほか、平成５年 10 月１日生まれの入園者に記念品を贈呈した。

（２）植物目録の改訂

30 年の節目を迎え、これまで富山県中央植物園が収集・登録し、植栽・保存されている植物と、園内の自生植物をリストアップした植物目録を改訂した。2002 年から 20 年ぶりとなるこの改訂により、園内の植物は約 4,900 種から約 6,600 種に増加した。植物目録には、このほか植物園の各エリアの概要や植物栽培記録を収録した。

（３）NHK 朝ドラ「らんまん」関連イベント開催

令和５年度前期ＮＨＫ朝ドラで植物学者牧野富太郎博士がモデルの「らんまん」が放送されたことから、（公社）日本植物園協会提供の牧野博士関連資料なども活用して関連イベントを開催した。

・企画展「牧野富太郎とサクラ」…牧野博士が発見、命名したサクラを紹介
・春のラン展…特別展示「牧野富太郎とランⅡ」でキンセイランなどを紹介
・牧野富太郎 in 富山県中央植物園…牧野博士の生い立ちや功績、当園所蔵の牧野標本 14 点を紹介。
・秋のラン展…特別展示「ランと牧野富太郎Ⅲ～牧野富太郎とカンラン～」でカンランを紹介

（４）「ウィンターフェス in 植物園」の開催と「緑のコンサート」の復活

・これまでのクリスマスフェアを一新し「冬を植物園で楽しもう！」をテーマとして、

花鉢、野菜、雑貨など15店舗のマルシェ、ミニツリーやスワッグ、キャンドルづくりなどのボタニカルクラフトやコンサートを開催した。

・コロナ禍を経て４年ぶりに月例行事として緑のコンサートを開催し、第１土曜日にエレクトーンCiao、第３土曜日に村上めぐみ氏の演奏を行った。

（５）ホームページからの行事参加申し込みの開始

「植物園くらぶ」、「ボタニックガーデンクラブ」については、令和５年度から試行的にホームページに設定した入力フォームからの行事参加申し込み・抽選により参加者を決定し、従来の電話申し込みによる電話応対時間の大幅削減、潜在需要の可視化など期待以上の効果を得ることができた。

１　施設の維持管理（敷地面積　約24.5ha）

２　植物の管理（屋外展示園、展示温室、栽培温室等）

（１）収集展示植物　約6,600種類

（２）屋外展示園：樹木等の管理、芝生等の管理、除草、雪囲い

①　世界の植物ゾーン　1,804種類

ボタン、シャクヤク、パンパスグラス、メタセコイア、オックスフォード庭園など

②　日本の植物ゾーン　739種類

サクラ、ウメ、ブナ、エッチュウミセバヤなど

（３）展示温室：ラン園芸品種等の展示

①　熱帯雨林植物室　382種類

ヒスイカズラ、キョチク、リュウキュウイトバショウ、タビビトノキ等

②　ラン温室　85種類

カトレヤ、パフィオペディルム、バンダ等ラン類、ベゴニア、ティランジア等

③　熱帯果樹室　137種類

バナナ、パパイア、マンゴー、アラビアコーヒー、マカダミア等

④　高山・絶滅危惧植物室　153種類

ハイマツ、プリムラ類、エッチュウミセバヤ、トウカイコモウセンゴケ等

⑤　雲南温室　119種類

トウツバキ、ベトナムのツバキ類、ギンコウボク、オオバイチジク等

（４）栽培温室　4,776種類

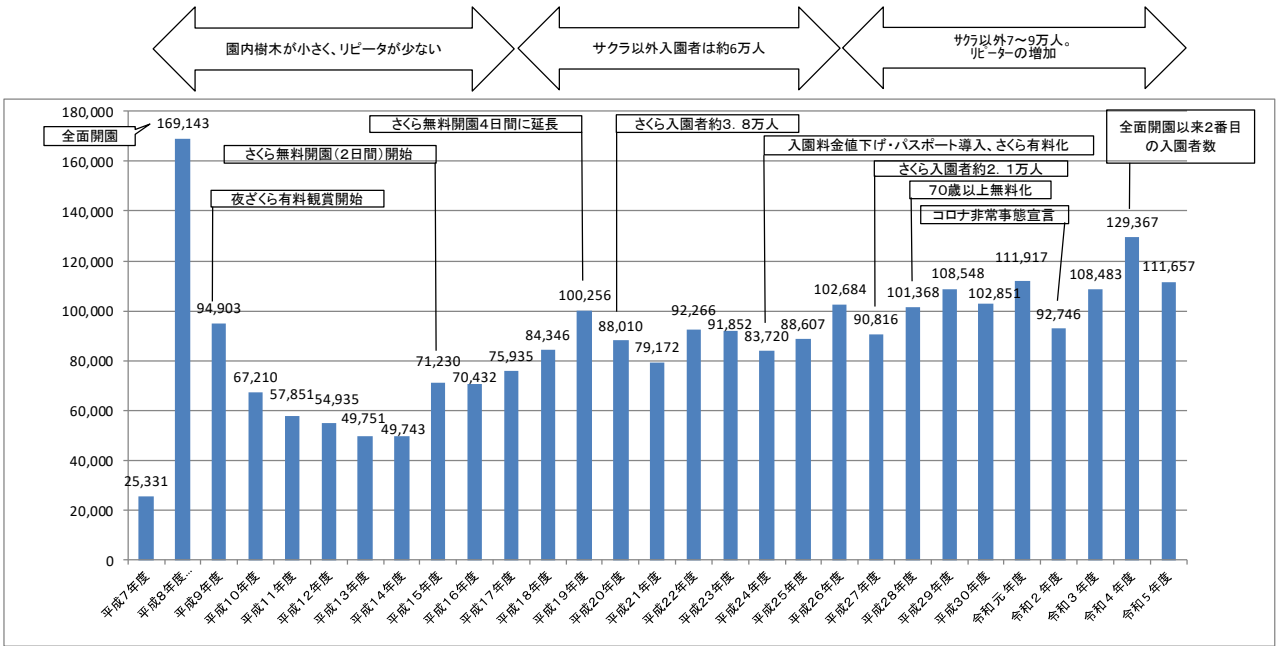
３　入園者の状況

令和５年はサクラが３月23日に開花し、27日には満開を迎えたことから、令和５年３月の入園者数が過去最高となった。一方で、令和５年４月の入園者数は前年度より減少した。また、夏の猛暑と残暑、秋の週末の雨天など入園者数は天候に左右されたが、新たに開催したオックスフォードガーデンパーティや、NHK朝ドラ「らんまん」関連イベントとして開催した牧野標本特別公開、今年度からリニューアル開催したウィンターフェスでは多くの入園者があった。冬期は２月が初旬から中旬まで暖かく入園者数は多くなったが、

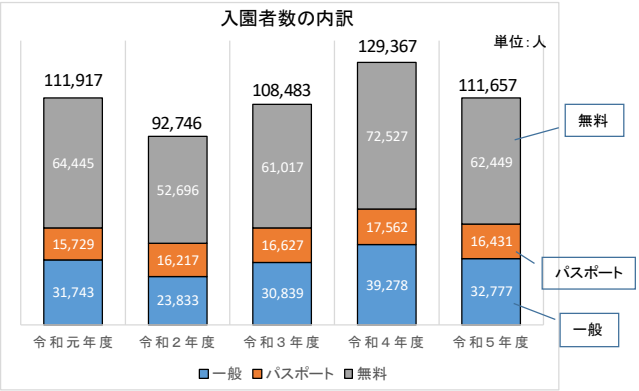
２月下旬から３月は寒が戻り、週末に悪天候が続いたため、入園者数が少なかった。年度合計では 111,657 名と、令和４年度よりは減少したがコロナ禍前の水準を上回る入園者数となった。

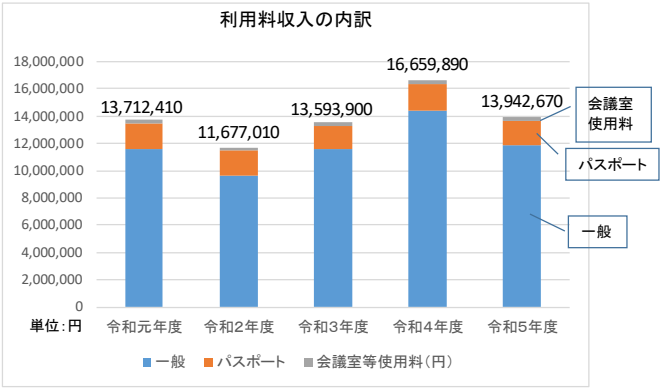
来園者（令和５年４月～令和６年３月）	113,529 名
内　訳	
(ｱ) 入園者数	111,657 名
・ 有料入園者数	32,777 名
・ 年間パスポート、友の会	16,431 名
・ 無料入園者数（減免、視察など）	62,449 名
うち 70 歳以上	34,694 名
(ｲ) 施設利用者数	
研修室、実習室等有料利用者	1,872 名

入園者数の年度別推移



直近５年間の入園者数と利用料収入の内訳





園内バス（電気自動車）の利用状況

	R1	R2	R3	R4	R5
年度計(人)	7,653	4,648	6,281	7,944	7,392

・４月１日～７月 31 日、８月 16 日～11 月６日、３月第３週からは毎日運行。
11 月７日～19 日は金～日と祝日に運行。
・乗車時間 約 30 分（解説付き）
・猛暑のため８月１日～15 日の平日は運行を休止

４　植物園活動業務

（１）植物の収集・自生地採取　　購入により入手が困難な植物採取
種子交換用植物等の種子採取

（２）教育・普及

ア　サンライトホール企画展・特別展　　（注：数字は期間中の入園者数）

・**牧野富太郎とサクラ**（３/17～４/19）　24,022 名
NHK 朝ドラモデルの植物学者・牧野富太郎が発見・命名したサクラなどを紹介

・**第 41 回ツツジ・シャクナゲ展**（４/21～４/23）　2,069 名
日本ツツジ・シャクナゲ協会富山県支部と共催で、色彩豊かなツツジ・シャクナゲの仲間 230 鉢を展示

・**春のサボテン・多肉植物展**（４/28～４/30）　2,068 名
富山サボテン会と共催で、サボテンと多肉植物 261 鉢を展示

・**第 44 回春のラン展**（５/４～５/６）　3,163 名
富山県蘭協会と共催でエビネや春に咲く洋ランなど 218 鉢を展示

・**私の植物画展**（５/12～５/31）　6,459 名
公募により一般から応募された植物画 128 点を展示

・**第 38 回イワチドリ・山野草展**（５/19～５/21）　1,359 名
富山県ウチョウラン保存会と共催で、イワチドリや山野草など 190 点を展示。会場はドリアスホール

・**さつき・盆栽展**（６/２～６/４）　1,169 名
富山皐月会および日本盆栽協会富山支部との共催により、盆栽を展示

・**第 41 回ウチョウラン展**（６/16～６/18）　1,517 名
富山県ウチョウラン保存会と共催で、ウチョウラン 213 株を展示

・**環境省アクティブ・レンジャー写真展**（６/23～７/12）　3,420 名
環境省信越自然環境事務所と共催で、管内の３国立公園でアクティブ・レンジャーが撮影した写真 40 点を展示

・**牧野富太郎 in 富山県中央植物園**（７/21～８/30）　8,731 名
牧野博士の生い立ちや功績、園所蔵の標本 14 点を紹介

・**特別展「富山県中央植物園の 30 年」**（９/８～10/1）　4,504 名
開園 30 周年を記念し、これまでの植物園の歩みを調査研究、雲南との交流、園内の変遷等をパネルと写真で紹介

・**第 35 回ボタニカルアート展**（10/13～10/18）　2,215 名
友の会植物画部会員 35 名による植物画作品 63 点を展示。そのうち 35 点は「帰化植物」をテーマに特別展示

・**秋季さつき・盆栽展**(10/20～10/22)　998 名
富山皐月会のさつき盆栽、日本盆栽協会富山支部の盆栽 24 席を展示

・**第 56 回富山県おもと展**（10/27～10/30）　1,069 名
日本おもと協会富山県支部と共催で、オモト 220 点を展示

・**第 6 回サボテン・多肉植物展**(11/３～11/５)　2,017 名
富山サボテン会と共催でサボテンと多肉植物を展示

・**第 17 回秋のラン展**（11/24～11/26）　1,782 名
富山県蘭協会との共催でカンランや洋ラン 190 点を展示、「ランと牧野富太郎Ⅲ～牧野富太郎とカンラン～」を特別展示

・**花と緑のコンクール入賞作品展**(12/12～12/25)　1,147 名
花と緑のコンクールで入賞したポスター原画、標語、花壇コンクール作品を展示

・**第 11 回新春カトレヤ展**（１/５～１/８）　1,048 名
県内の愛好家団体である「ＣＯＴ（クラブ・オーキッド・トヤマ）」との共催により、カトレヤの原種を中心に特別展示「Cattleya　from Japan－日本で作出されたカトレヤー」など 92 点を展示

・**私の植物写真展**（１/12～２/21）　8,506 名
植物園内で撮影した写真を一般から募集し、45 点を展示

・**令和５年度研究発表展**（１/26～２/21）　7,351 名
職員の研究成果をポスター形式で展示

・**第 11 回クリスマスローズ展**（２/23～２/25）　2,348 名
クリスマスローズの園芸品種と「クリスマスローズのある暮らし」を展示

・**第 52 回蘭まつり大会**(３/１～３/３)　2,449 名
富山県蘭協会との共催で洋ラン、東洋ラン 291 点を展示。「中央植物園のラン栽培と展示」を特別展示

・**第 20 回雪割草富山県大会**(３/８～３/10)　1,770 名
富山雪割草の会との共催で、会員が栽培した多様な雪割草 144 点を展示
特別展「千重咲きと三段咲きの雪割草」を開催

・**富山県で見つかったサクラ**（３/22～３/31）　4,102 名
富山県で新品種として発表された 18 種類について、写真やパネルで紹介

イ　特別開園・特別行事　（注：数字は入園者数）

・**第 12 回さくらまつり**（４/１～４/４）　18,759 名
園内のソメイヨシノの開花時に合わせ、特別入園料 200 円、開園時間を午後９時半までとして実施。ソメイヨシノの開花が３月 22 日と観測史上最も早かったが、４日目も「散り始め」で持ちこたえ、春休み期間中で天候もまずまずで多くの入園者があった。

・「県民ふるさとの日」記念無料開園（５/９）　915 名
「県民ふるさとの日」を記念し無料開園
・夜間開園「ゲッカビジン観賞」（７/24,25）　620 名
ゲッカビジンの開花に合わせ開催
・夜の熱帯植物探検（８/25,26）　394 名
夜に咲く花、香る花、夜に閉じる葉を観賞するための夜間開園
・開園 30 周年記念式典（10/６）　372 名
平成５年の開園から 10 月１日で 30 周年になることを記念し、新田知事、西川植物園協会会長臨席のもと、記念式典とイギリスのサクラの記念植樹、西川氏による記念講演会を開催
・ウィンターフェス in 植物園（12/８～10）　2,881 名
これまでのクリスマスフェアを一新し「冬を植物園で楽しもう！」をテーマとして、花鉢、野菜、雑貨などのマルシェ、ボタニカルクラフト、コンサートを開催

ウ　講座、講習会等　（注：数字は参加者数）
・栽培講習会「シャクナゲの植え替えと管理」（４/22,23）　51 名
ツツジ・シャクナゲ協会会員を講師に、植え替えや接木のやり方について講習
・栽培講習会「ランの植え替えと管理」（５/６）　34 名
富山県蘭協会会員によるエビネと洋ランの栽培についての講習
・植物写真教室「やさしい花の撮り方」（５/20）　41 名
富山写真家協会と共催で植物写真の撮影方法を講習
・第７回富山の生物多様性公開講演会「私が選ぶ、富山の生き物」（５/21）　42 名
富山県生物学会と共催で、各分野の研究者が植物、昆虫、魚、両生類、爬虫類、鳥まで「富山らしい生き物」を講演
・植物画講習会（５/27,28）　25 名
豊田路子氏を講師に、初心者を対象に植物画の講習
・オックスフォード庭園 GARDEN PARTY（７/２）　571 名
花の庭の会が中心となりオックスフォード庭園前で解説会、花苗の販売、イングリッシュメニューの提供、梅花藻コンサートを開催
・夏休み子ども企画森のクラフト（７/21～８/30）　921 名
どんぐりやまつぼっくりなどを使って工作できるコーナーを設置
・植物標本の作り方（７/22,29）　７名
牧野富太郎 in 植物園の関連行事で小学生対象の標本づくりを実施
・夏休み特別企画「オオオニバスに乗ってみよう」（８/４～６）　1,472 名
児童たちが巨大なオオオニバスの葉に乗るイベントを実施
・特別展「富山県中央植物園の 30 年」のオープニング解説（９/８）　20 名
特別展開催初日に、担当職員が展示内容を解説

・第 31 回 TOYAMA 植物フォーラム（９/24）　50 名
生物多様性保全について県自然保護課や博物館、市民団体の活動の講演
・栽培講習会「おもとの植え替えと管理」（10/28,29）　29 名
（公社）日本おもと協会富山県支部会員によるオモトの栽培講習
・栽培講習会「多肉植物の栽培と管理」（11/４，５）　54 名
富山サボテン会会員を講師に４日はメセン類、５日はハオルチアの栽培と管理について講習
・栽培講習会「ランの植え替えと管理」（11/26）　26 名
富山県蘭協会の会員によるカンランと洋ランの栽培についての講習
・ウィンターフェス事前申し込み体験（12/９,10）　85 名
ヘチマのランプシェードとミニツリーなどのクラフトづくりを実施
・ウィンターフェス自由参加体験（12/８～10）　529 名
マツボックリのミニツリーなど６種類のクラフトづくりを実施
・植物園でバードウォッチング(12/10)　74 名
日本野鳥の会富山と共催で、植物園で見られる野鳥の観察会を開催
・散らない桜カード配布（１/６）　300 名
コシノフユザクラの押し花で作ったカードを 300 枚用意し希望者に配布
・新春カトレヤ展展示解説（１/７，８）　26 名
カトレヤ展の展示解説と栽培管理について解説
・令和５年度研究発表会（１/28）　49 名
植物園の職員が行っている研究について研究成果を発表
・栽培講習会「クリスマスローズの栽培と管理」（２/24,25）　161 名
北陸でのクリスマスローズ栽培について解説
・栽培講習会「ランの植え替えと管理」（３/２，３）　82 名
東洋ラン、洋ランの栽培講習会を２回ずつ４回開催
・栽培講習会「雪割草の栽培と管理」（３/９,10）　65 名
雪割草の栽培講習会を開催

エ　コンサート
・緑のコンサート　５，６，９，10，11 月の第１土曜、第３土曜　188 名
４年ぶりに緑のコンサートを復活し、第１土曜日はエレクトーン Ciao、第３土曜日は村上めぐみ氏の演奏を実施
・ ウィンターフェスコンサート（12/８～10）　221 名
梅花藻、アイネハーツ、村上めぐみ氏、富山少年少女合唱団の演奏

オ　月例行事
・植物ガイド―ボランティアと歩く植物園―（毎週日曜日）　33 回　207 名
毎週１回入園者にボランティア、職員が見頃の植物を案内
・植物ガイド―園長と歩く植物園―（毎月第３日曜日）　12 回　161 名
毎月第３日曜日の 13:30 から 14:30 に園長が見頃の植物を案内

カ　植物園クラブ

・**食虫植物を育てよう**（７/23, 24）　77 名

食虫植物の解説とハエトリグサの栽培方法について解説

・**顕微鏡・電子顕微鏡で植物を観察しよう**（７/30, ７/31）　34 名

顕微鏡と電子顕微鏡でオニユリやムクゲなどの花粉を観察

・**カリンバを作ろう**（８/６，７）　92 名

武部洋明氏を講師に、木材とヘアピンなどでカリンバづくり

・**草木染めをしよう**（８/20, 21）　58 名

カリヤスの葉で綿のハンカチを煮染め、絹のハンカチをアイで生葉染め

・**かぼちゃのチョウチンづくり**（10/28, 29）　99 名

ハロウィンにちなんでかぼちゃをくりぬいてチョウチンを作成

・**葉っぱのカレンダーづくり**（12/16, 17）　67 名

マテバシイとスダジイの葉をボードにかけて、カレンダーを作成

キ　ボタニックガーデンクラブ

・**夏を元気に彩る寄せ植えづくり**（６/10）　19 名

千華園の石村修子氏を講師に、夏向け花苗で寄せ植えづくり

・**豆本づくり**（８/27）　10 名

カーティスのボタニカルマガジンの図版を用いた豆本づくり

・**多肉植物で楽しい寄せ植えづくり**（10/22）　16 名

生きている石ともよばれるリトープス苗６種を用いて寄せ植えづくり

ク　学校教育支援

・学校等への教育支援活動

オリエンテーリング、どんぐり工作など　27 小中学校　延べ　791 名

ケ　団体対応

・来園した団体へ概要説明、ドリアス講座など　30 団体　延べ　833 名

コ　写真撮影来園対応

・結婚式前撮り、家族写真撮影、モデル撮影など写真撮影のため来園した団体への対応　83 団体　延べ　635 名

サ　研修等

・博物館実習（18 名）

内訳：富山大学（11 名）、岐阜女子大学（２名）、龍谷大学（１名）、金沢学院大学（１名）、東北芸術工科大学（１名）、岡山理科大学（１名）、岐阜大学（１名）

・11 年次教員研修　４名

・社会に学ぶ 14 才の挑戦　（３校、12 名）

内訳：速星中学校（４名）、西部中学校（４名）、城山中学校（４名）

・インターンシップ　中央農業高等学校３名

・支援学校職場体験　ふるさと支援学校高等部１名

・富山市教育センター婦中適応指導教室指導（48 回延べ 270 名）

（３）地域との連携

ア　ファボーレとの連携

ファボーレとのタイアップによる地域周遊促進企画

ゴールデンウィーク期間にスイーツ割引クーポンの配布、太陽の広場大型ビジョンで期間中のイベント紹介。同時に園内ココナッツアイランドの 100 円割引券を配布。

イ　鵜坂地区との連携

鵜坂体協主催ウォーキング大会の開催（５/28）

ウ　ウィンターフェスでの出店

県内の生産者、農業高校、雑貨やクラフト店など 15 店舗に出展いただいた。

（４）情報提供

ア　ホームページによる情報提供　ユーザー数　88,120 人

公式インスタグラムフォロワー数　3,210 人（Ｒ４：2,503 人）

イ　植物相談（令和５年４月～令和６年３月）　110 件

・県民からの植物同定や栽培相談　85 件

・マスコミからの問い合わせ　15 件

・植物関係者からの問い合わせ　7 件

ウ　出　版

・事業概要第 25 号　令和４年度版　令和５年５月　pdf ファイルを HP で公開

・植物園だより No.108～No.111 発行

・研究報告 29 号　令和６年３月発行

・イベントチラシ

夏休み用 33,000 部、秋冬イベントチラシを 33,000 部印刷し、県内小学校、公共施設に配布

令和６年度分イベントチラシを 3 月に印刷

・富山県中央植物園植物目録

開園 30 周年の節目にあたり、植物目録を約 20 年ぶりに改訂して発行

令和５年９月現在で保有している植物の掲載と各エリアの概要や植物栽培記録を収録

・令和４年度特別展解説　「桐野秋豊－八尾が生んだツバキ研究家」発行

エ　データベース

導入植物や文献・標本の登録

オ　インフォメーション

園内サンライトホールのインフォメーションコーナーで見ごろの花や場所などの案内、ドリアスショップで植物苗や絵はがき、オリジナルグッズ等の販売

カ　マスコミへの情報提供

・マスコミにイベント案内や開花情報を提供　　57 件
・関連記事の新聞記事掲載　　186 件

キ　新聞等への寄稿

・読売新聞富山版に「植物はおもしろい」を月１回連載
・富山県いきいき長寿財団情報誌 VITA[富山花とみどり探訪」９月掲載
・北日本新聞「万機公論」８/30 分「富山県ならではパラグアイオニバスの群生展示」
・北國新聞ふるさと小学生新聞「生きもの大好き」令和６年１月から月一回

ク　ラジオによる情報提供

・KNB ラジオ隔週水曜日生 CM を 26 回放送、スポット CM45 本、生中継２回
・FM とやま毎週第２水曜日「植物園探検」を 12 回放送
・富山 City FM　月１回生中継 12 回、スポット CM120 本放送

ケ　広告の掲載

新聞、雑誌、テレビによる広告出稿　11 回

コ　ファボーレ内植物園掲示板による情報提供（場所：本館２階西側エスカレーター横）

・ポスター、見頃の植物の掲示、パンフレット、チラシ、植物園だより等の配布
随時(週 1 回以上）掲示の更新及びパンフレット類を補充

（５）調査、研究

ア　調査研究

(ｱ)富山県の植物相と植生に関する調査

・立山浄土山で再確認されたタテヤマキンバイ個体群
・立山一ノ越におけるタテヤマキンバイ群落の短期動態、2022-2023 年
・立山高山帯におけるイワカガミの繁殖特性
・立山植生モニタリング外来植物モニタリング調査
・富山県における 2021 年および 2022 年のツヤハダゴマダラカミキリ生息状況
・子撫川流域におけるフロラ調査
・富山市で見出されたタカサゴ系の新栽培品種‘弥生高砂’（ヤヨイタカサゴ)

(ｲ)絶滅危惧植物の実態調査及び増殖に関する研究

・富山県産チョウジソウ（キョウチクトウ科）の生息域外保全と挿し木増殖

・絶滅危惧植物ヤドリコケモモの種子の発芽特性と低温保存

・国内希少野生動植物種フクエジマカンアオイの保全に向けた調査

(ｳ) 収集植物の特性調査と栽培・利用に関する研究

・シラシマメダケの葉の表皮構造

・中国雲南省産ハッポウジュにおける種子の発芽特性と低温保存耐性

・パラグアイオニバスの種子の貯蔵について

(ｴ)導入植物の同定の利用、栽培管理に関する研究

・展示温室で確認された微小害虫とその天敵

(ｵ)外部資金による調査

・科学研究費補助金　基盤研究（B）（（独）日本学術振興会）
「地域集団の遺伝的多様性と気候変動へのレジリエンス：高山植物を用いた地域間比較（令和４年度～令和７年度）　研究費 500 千円、間接経費 150 千円

・生物多様性保全推進交付金事業（環境省）
「亜温帯・亜熱帯産国内希少野生動植物種の生息域外保全」（令和３年度～令和５年度）　交付金額 1, 500 千円

・沖縄県版レッドデータブック改定業務（維管束植物分科会委員）（沖縄県）（令和５年度～令和８年度）　委託額 56 千円

(ｶ)その他

・ヨコハマダケ（メダケ属）の葉の表皮構造

・Cytological studies on three *Elatostema* species (Urticaceae) collected from Lanyu Island, Taiwan

・オニアザミの正確な学名について

・Chromosome number of *Boehmeria formosana* (Urticaceae) collected from Okinawa-jima Isl., Ryukyu Isls.

・海草生態の調査手法の開発Ⅰ：小型飛行ドローン，舟底窓付きカヤック，スノーケリングを組み合わせた新観察手法

・倍数性の異なるコケモモ２タイプの日本における分布と繁殖システム

イ　資料収集

文献（456 点追加）、標本(743 点追加)などの収集

（６）植物園交流

ア　植物公園連絡協議会との連携

・合同研修会（11/７、於：南砺市園芸植物園　情報交換後、菊まつり会場視察）

・総会（３/８、於：富山県中央植物園 内容：Ｒ５事業報告、Ｒ６事業計画を審議。雪割草富山県大会を視察）

・スタンプラリー（５/１～11/30）　達成者名 323 名（昨年 229 名）
５ヶ所以上達成者から抽選で 10 名の方に「各植物園の特色を生かした植物」を

贈呈
・講演会の合同開催　TOYAMA 植物フォーラム、客員研究員講義
・植物苗、種の交換・譲渡

イ　国内植物園交流（（公社）日本植物園協会との連携）

・第 58 回大会・総会　５/28～31 高知県立牧野植物園（高知県）
志内課長補佐「保全・栽培技術賞」受賞
（中田園長、志内温室課長補佐）
・連携企画「植物園で牧野富太郎」参加、関連企画展を開催
・中部生物多様性拠点園連絡会議開催 10/17-18
・第 7 回教育普及ワークショップ２/28（オンライン）（兼本企画情報課長）
・教育普及委員会「植物園オンラインツアー」への参加
第 5 弾『植物園の花見旅 2023』、第 6 弾『ありがとうらんまん』Youtube 植物園協会公式チャンネルで公開
・国公立園運営会議３/５-６「近年の気象の変化における植物園の対応と対策について」宇治市植物公園（京都府）（西村企画情報課主任）
・日本植物園協会誌への投稿　（志内栽培展示課長補佐、東企画情報課主任）
・植物園協会理事（中田園長）年３回理事会
・植物多様性保全委員会ネットワークへの参加（早瀬温室課主任）
・ナショナルコレクション委員会委員　東山動植物園でのシンポジウム運営・参加
（大原企画情報課長補佐）
・ワシントン条約放棄植物の管理
（公社）日本植物園協会を通じた経済産業省からの寄託管理 *Adenia* 苗の受入
・国内の植物園との種苗交換を実施
・(公財)高知県牧野記念財団理事（中田園長）６/８、３/13 理事会
・筑波実験植物園運営委員会委員（中田園長）６/29 評議委員会

ウ　海外植物園交流

・昆明植物研究所孫航所長との共同研究材料 Corydalis 収集
・オックスフォード大学植物園との相互交流
Ben Jones 氏と上市町菊桜の調査、朝日町などでの植生調査
・文献交換　文献送付と文献受入

（７）危機管理

ア　富山県中央植物園危機管理マニュアルの改正

平成 25 年以降改正していなかったため、既存項目に加えて必要な項目を追加

イ　危機管理マニュアルに基づく対策の実施

(ｱ)　園内の各施設について日常点検を実施。
(ｲ)　入園規制基準、危機管理マニュアルに基づき、入園注意、入園禁止を実施

入園禁止　　１回　＊園内で落雷・停電が発生（10/27）
入園注意　168 回　＊強風・雷などの注意報発令時

ウ　防災訓練及びＡＥＤ講習

富山県中央植物園消防計画に基づき防災訓練及び AED 講習を実施（11/9）

エ　除雪計画及び除雪の実施

令和５年度除雪作業計画に基づき屋外展示園、駐車場、温室周囲の除雪を実施

（８）事業の検証

利用者及び有識者による令和５年度事業評価委員会を開催（２/29）

（主な意見）

・災害時の対策をしっかりしているというのはアピール材料になる。
・ＮＨＫの朝ドラ「らんまん」を見て、植物標本に興味を持った子どももいるのではないか。標本教室などがあるとよい。
・飲食をともなうイベントがあると友人や家族を誘いやすく、人が集まりやすいのではないか。
・学校の利用に関しては、近年バスの予約が取れないし、料金が上がっている。バス料金の補助があれば利用してみようという学校も増えるのではないか。
・富山大学ではエストニアの大学と交流しているが、研究分野が合うようであれば連携をお願いしたい。

Ⅲ　県民公園頼成の森の管理運営業務（公益目的事業３）

59,988,577 円

花と緑の運動推進のシンボル施設として県民に支持され、利用者に満足を得られる施設となるよう適正な管理に努めるとともに、総面積 115 ヘクタールに及ぶ広大な森林を生かした健康づくりの場、休養の場、体験学習の場を提供した。

また、７月の豪雨災害においては速やかに調査・報告・復旧の対応を行った。

令和５年度の主な取り組み

（１）「とやま森の祭典 2023」への協力

５月 28 日に頼成の森で「とやま森の祭典 2023」（県、とやま緑化推進機構主催）が開催されるにあたり、会場となったスギ展示林の間伐・枝打を実施するとともに、除草、清掃を行った。森の祭典らしい森の中での祭典となり、施設の PR を行うことができた。

（２）車道・駐車場の安全管理

スギ展示林ロータリーの道路区画線が経年劣化でほとんど消失していたことから、車両の逸脱防止など安全を確保するため塗替えを行った。

また、第１駐車場の駐車スペースの区画線についても同様であったことから、車同士の干渉・衝突防止、歩行者の安全確保のため塗替えを行った。

（３）７月豪雨災害への対応

７月 12～13 日に記録的な豪雨に見舞われ、これまでにない規模で花しょうぶ田、遊歩道、車道、水路等施設への被害が発生したことから、速やかに調査を行うとともに県への報告と調整を行った。

被害の大規模なものについては県事業で行い、その他の崩土除去や施設補修など約 40 カ所については、財団において迅速に復旧を行った。

１　施設の維持管理（敷地面積　115ha）

２　県有林の管理

・スギ展示林の間伐・枝打ち 0.45ha、下刈り　5.0ha

・遊歩道沿いの枯損木、倒木等の除去　約 50 箇所

３　植物の管理

・入口広場の芝生、植栽木の保護育成

・ハナショウブなど水生植物園の保護育成　　ハナショウブ　600 品種　70 万株

４　自然や森林生態の学習体験

（１）森林科学館での各種展示

森林の自然生態や頼成の森の四季などをテーマに常設展示

（２）第 38 回花しょうぶ祭り（6 月 9 日～18 日）　　入場者　　45,123 名

ハナショウブ鑑賞、野点、オカリナ演奏、育て方講習会、即売会等

（３）月例行事の実施

・守り人と歩く頼成の森　　4 月 9 日　　参加者　　14 名

＜春の森の中を観察しよう＞　春の森を散策しながら、花や若葉などを観察

・緑に親しむ集い　　5 月 4 日　　参加者　　64 名

クイズを解きながら森を散策、シイタケの植菌も体験

・ネイチャーフォト教室　　5 月 21 日　　参加者　　15 名

自然の素敵な写真の撮り方をプロから学ぶ

・野鳥と昆虫の観察会　　7 月 23 日　　参加者　　23 名

頼成の森、水生植物園で野鳥・昆虫の観察会

・守り人と歩く頼成の森　　7 月 30 日　　参加者　　12 名

＜カブトムシウォッチング＞　森を散策しながら、昆虫を観察

・竹を使った工作教室　　8 月 6 日　　参加者　　17 名

竹で水鉄砲を作り、飛距離を競う

・木製楽器づくり教室　　8 月 20 日　　参加者　　18 名

杉材でミニ木琴づくりを体験、みんなでミニ演奏会

・きのこ狩りと観察会　　10 月 8 日　　参加者　　45 名

きのこを採集し、見分け方などを学ぶ

・リースづくり教室　　11 月 12 日　　参加者　　21 名

自然素材を使った素敵なリースづくり

・頼成の森“感謝の集い”　　11 月 19 日　　参加者　　140 名

林内散策、ドングリ工作、オカリナ演奏会及びお楽しみ抽選会を実施

・干支づくり工作教室　　12 月 3 日　　参加者　　17 名

来年の干支「卯」の置物づくりを体験

・ミニ門松作り教室　　12 月 17 日　　参加者　　23 名

お正月用のミニ門松づくりを体験

・竹スキーづくり教室　　1 月 28 日　　参加者　　4 名

孟宗竹で竹スキーをつくり、滑走を体験

・守り人を歩く頼成の森　　2 月 4 日　　参加者　　13 名

＜冬の森の中を探検しよう＞　冬の森をスノーシューで歩き、動植物などを観察

５　利用者数（令和５年４月～令和６年３月）

県民公園頼成の森	入場者	130,578 人
森林科学館	入館者	9,534 人
バーベキュー施設	利用者	734 人(114 卓)

６　普及広報活動

・頼成の森のホームページで「イベント情報」や「花しょうぶ開花状況」を発信

・頼成の森の四季の自然情報等をブログ「頼成の森だより」で発信